

自昭和十八年十月一日 第六八航空戰隊戰時日誌
至昭和十八年十月三十日

一 經 過
敵 情

情報ニ依ル敵ハ印度西岸ニ多数ノ港ヲ建設中ニシテ特ニゴーチン
附近ニ大海軍根據地ヲ設定シ船渠作業極メテ盛、大兵力
ヲ集中シアリ、上旬ニ於ケル通信情報ハ、アテン方面ヨリスル印
度向船團ノ移動相當多キヲ示セリ

敵ハ印度東岸方面ノ哨戒ヲ嚴重ニ爲シアリ又印緬國境
方面敵機ノ蠢動活潑ニシテコビルマ攻撃準備ヲ示唆シテリ
特ニ印緬國境中央部ヨリ印度軍支那軍侵入ノ兆候濃厚
ニシテ十月初旬以降大規模ノ反抗ヲ企圖シアルモノノ如シ

(二)

我が軍ノ情况

(イ) 右ニ呼應シ六日早朝空母六隻巡洋艦七隻、驅逐艦約十隻ヨリ成ル敵機動部隊大鳥島ニ來襲及三日未明敵機動部隊「ブーゲンビル」島沖ニ出現セリ

(ロ) 情報ニ依レバ「コロンボ」ニ英東亞艦隊(重空母数隻、戦艦四隻、基幹)集結シ中旬我西方ニ來攻ノ算アリ

(ハ) 以上ノ情勢及敵機ノWISA方面偵察(上旬)並ニ友軍機偵察(下旬)ニ依ル「チタゴニ」ヨグスバザ「ナフ」河附近数十隻ノ船團集結ノ事實等ヨリ推シ、敵ハ近ク西方面ニ對シ積極的ニ

大規模ナル反攻ヲ企圖シアルモト思考セラレ當戰隊擔任海域ハ嚴重警戒ヲ要スル情况ニ在リ

(イ) 一日第十三航空艦隊司令部彼南ニ轉進

(ロ) 一日附第十三根據地隊編成(ラングーン)七三三空第十三航空

艦隊ニ編入セラル

(ハ) 十日 第三十三航空戦隊司令部「バタン」ニ進出

(ニ) 十三日 以降 陸軍第五飛行師團 北部「ベンガル」灣 飛行哨戒

ヲ始ム

(ホ) 十五日 第十三航空艦隊輸送機隊編成セラレ 第三班 第三

航空戦隊ニ配屬セラル

(ヘ) 十五日 TAB 陸攻一ヶ中隊「バタン」ニ残置 SAB 指揮官ノ作戦指揮

ヲニ入ラシメラル

(ト) 十五日 附セ「五空」(在「ティアン」ヲ 25Sf ヨリ除カレ 28Sf ニ編入セシメラル

斯クテ 四方 正面ニ對スル 索敵哨戒 攻撃防備 兵力ノ増強

整備ヲ見タリ

(三) 作戦指導

(イ) 作戦命令ノ要綱

四) 哨戒待機等

(1) 全月ヲ通ジ

各配備基地ヨリスル印度洋「ベンガル灣南部」哨戒索敵ヲ實施ス
各配備基地ノ上空哨戒來襲敵機ノ撃滅海陸軍艦船船舶ノ上空
竝ニ對潛哨戒ヲ實施ス

(2) 英東亞艦隊(重空母數隻戰艦四隻基幹)「コロネ」集結ノ情報依
リ八日 NSB、ロヨリ「C」作戰「D」作戰警戒「E」及「コロネ」「ワリンコマリ」等
印度要地偵察攻撃ノ下令アリタルヲ以テ八日八五二空在「スラバヤ」
飛行艇隊急速「シボル」がニ進出及一部「ポートブレア」ニ急進進出

「パダン」基地	(五日以後) 七五三空陸攻一個中隊
「スラバヤ」基地	「B」八五二空主力
「シボル」基地	飛行艇約三個小隊(九日以後) 飛行艇一個中隊
「ポートブレア」水上基地	(三日以後) 「B」八五二空主力
	飛行艇約三個小隊(十九日以後) 飛行艇約一個小隊

285X

準備ヲ下令スルト共ニ零戦隊艦攻隊陸攻隊ノ嚴重ナル哨戒並ニ
警戒ヲ實施セシメタリ

(3) 十一日「サバン」基地發進ノ七五三空哨戒機ト「バダン」基地發進ノ
七五三空哨戒機トノ特定連絡符ノ鉤絲ニ依リ敵大部見ユコノ
誤報ヲ發シ一時C作戦D作戦用意ノ下令アリシモ間モナク解
除セラレタリ

(4) 十二日八五二空大艇二機「アドラズ」及「ツリン」ヨマリ「夜間偵察攻撃
ヲ實施ス

(5) 十二日五五二艦攻隊通信情報ニ依リ「サバン」西方海面ノ索敵費
施ス

(6) 十三日八五二空大艇一機「セイロ」島夜間偵察ニ發進セルモ天候不良爲
引返ス

(7) 十五日七五三空陸攻一個中隊「バダン」ニ殘置サレ西部空襲部隊指揮官

ノ作戦指揮下ニ入り哨戒ニ従事ス

(8) 二十五日以降索敵標準ヲ改定ス

(9) 二十六日七五三空陸攻一機、ゴコス島偵察ヲ實施ス

三三三空「カニヨル」派遣零戦隊ハ來襲セルB24一機ヲ追撃撃

隊セリ

(ハ) 行動補給訓練整備施設等

(1) 三日在「サバン」五五三空艦攻隊全機及三三三空零戦一個小队「ラ

チャ」ニ移動

(2) 五日内地ニテ編成ヲ急ギツアリシ五五三空本隊木更津基地ヲ

撤收シ軍艦千歳ニ乗艦内地ヲ進發セリ

(3) 十一日七五三空「サバン」派遣隊哨戒機一機、洋上ニ不時着、十三日迄殆

ド連日之ガ搜索ヲ實施シ十三、十四兩日不時着搭乗員ヲ發見

シタルモ遂ニ收容スルニ至ラス、使用兵力陸攻延三七機、艦攻延六

機飛行艇二機計九三機艦艇三隻(二號敷設艇七號驅替艇第五開洋丸)右ニ協力

(4) 在「テア」ノ基地セヨ空(陸攻四一機)ハ十九日豊橋基地ニ移動

十月上旬「バグ」進出ノ豫定ニテ極力整備ニ努メツツアリ

(5) 二十日五五空本隊昭南着ニ五日ヨリ下ニ進出三十日天山全力(二四機)ヲ合セ艦攻ニ保シ得ルニ至セリ

(6) 二十日八五空在「スライ」飛行機隊ノ機ニボルガニ轉進

(7) 二十日七五空「サバン」派遣隊哨戒機一機消息不明トナリ艦攻及陸攻全力ヲ以テ搜索ヲ實施セルモ發見スルニ至ラズ艦艇二隻

(七號掃海艇第五開洋丸)右ニ協力

(8) 作戰ノ旁ヲ各基地毎ニ戦力ノ練成ニ努メシムルト共ニ機合アル毎ニ聯合訓練ヲ實施セリ即チ大井北上ニ對シ二十日艦攻隊零戰隊及陸攻隊ヲ以テ襲撃ヲ教練シ二十日艦攻隊陸攻隊ヲ以テ

雷撃後射訓練ヲ實施セリ

(9) 當戰隊司令部人員、陣容ハ再三ノ折衝上申等ニ依リ漸ク一部ノ手配ヲ見タルモ本月中ハ遂ニ一名ノ轉入者モナク諸物件ノ整備モ亦意ノ如クオラズ司令部ノ機能發揮上支障大ナル狀況ナリ

(10) 當方面各航空基地ノ狀況ハ殆ド占領當時其ノ儘ニシテ急速整備ヲ要スル狀況ニ在リ諸情勢ニ鑑ミ緊急着手配整備ノ要切ナルモノアリタルヲ以テ各擔任者側ト折衝ヲ重ネ之ガ促進ニ努メタリ

